

令和 7 年 12 月 19 日

各 位

一般社団法人日本環境アセスメント協会
セミナー委員会委員長 湯浅 晃一

第 90 回 環境システムシンポジウム
～(一社)日本環境アセスメント協会 令和 7 年度第 2 回公開セミナー～

土木分野のライフサイクルにおける CO₂ (ホールライフカーボン) 削減に向けて

「2050 年カーボンニュートラル」の実現に向けて、土木・インフラ分野において脱炭素化に向けた取組が進められています。特に、建築分野における取組が先行していますが、今後は土木分野においても、土木構造物の設計から解体までの全段階で排出される CO₂、すなわちホールライフカーボンの削減が求められます。

本シンポジウムでは、土木分野のライフサイクルにおける CO₂ (ホールライフカーボン) 削減を目指し、最新の国の施策動向やホールライフカーボンの算定・評価手法、具体的な取り組みや課題、解決策を共有するとともに、さらなる導入拡大に向けた議論へと深めます。

記

- 主催 公益社団法人土木学会（担当：環境システム委員会）
- 共催 一般社団法人日本環境アセスメント協会（担当：セミナー委員会）
- 日時 令和 8 年 1 月 16 日（金） 13:30～16:30（※3 時間程度）
- 会場 オンライン（Zoom ウェビナー）
- 参加費 無料
- 定員 500 名
- 申込み 令和 8 年 1 月 14 日までに協会ホームページ内申込フォームにてお申込下さい。
- 申込みフォーム <https://jeas.org/openseminar01>
- なお、この公開セミナーは JEAS-CPD 制度の認定プログラムです。
- プログラム（講演題目、発表者は予定です。都合により変更する場合がありますがご了承ください）

| | |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 13:30～13:35 | 土木学会 環境システム委員会 |
| 13:35～14:00 | 建築物ライフサイクルカーボン削減に向けた法制度検討状況（仮） 慶應義塾大学 名誉教授 伊香賀俊治氏 |
| 14:00～14:20 | 令和 8 年度以降に始まる土木分野の建設カーボンニュートラルの社会実装（特に「GHG 排出量算定の自動化」の実現方策の一案として、「物価調査方式原単位」と「情報連携キー（産業連関表コード 7 衍）」について） 国土交通省 國土技術政策総合研究所 社会資本マネジメント研究センター 建設経済・環境研究室 室長 富田興二氏 |

| | |
|-------------|----------------------------------------------------------------------|
| 14:20～14:40 | 港湾分野における脱炭素化に向けた取組 港湾空港技術研究所 構造研究領域 構造新技術グループ 主任研究官 中村董氏 |
| 14:40～15:00 | 高速道路における脱炭素化に向けた取組み 中日本高速道路株式会社 技術本部環境・技術企画部 環境・技術企画 課長 櫻井健一郎氏 |
| 15:00～15:20 | 土木・インフラ分野における CO2 削減に向けた取組事例（仮） 清水建設株式会社 土木技術本部 プロジェクト技術部 永尾謙太郎氏 |
| 15:20～15:25 | (休憩) |
| 15:25～16:25 | 総合討議 【ファシリテーター：北九州市立大学 教授 松本亨氏】 |
| 16:25～16:30 | 日本環境アセスメント協会 (セミナー委員会委員長 湯浅晃一) |

以上

お問合せ先：(一社) 日本環境アセスメント協会事務局
TEL 03-3230-3583 、 FAX 03-3230-3876